



2023年2月15日 第457号
全日本年金者組合京都府本部
〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13
☎ 075-761-3213 FAX 075-761-3214
mail nenkin-kyoto@iaa.itkeeper.ne.jp
発行責任者 山本和夫

23年金[改定]

年金生活者の生活実態を無視 怒り沸騰!
異常な物価高騰下、わずか1.9%改定

Table with 2 columns: 項目 (Item), 物価上昇率 (前年12月比) (Price increase rate (vs Dec 2022)). Rows include 食料品 (7.0%), 電気料金 (21.3%), and ガス料金 (23.3%).

年金は食費や光熱費、医療介護の保険料・一部負担金でそのほとんどが消費されます。年金生活者の生活実態を無視する年金

厚生労働省は今年4月から年金額を、マクロ経済スライドを適用し、物価比で0.6%削減(68歳以上の改定率は1.9%)すると発表しました。昨年の物価上昇率は2.5%としていますが、総務省の発表した物価上昇率(前年12月比)では、食料品7.0%、電気料金21.3%、ガス料金23.3%増です。

「特例措置」で年金大幅引き上げを

改定に怒り心頭です。この異常な物価高騰の時期に、マクロ経済スライド制を発動し、0.6%の削減は断じて許せません。
さらに2月から5000品目を超える食品・飲料水が値上げされ、電気料金も大幅な引き上げが予想されています。
このように時にこそ、政府に「特例措置」を講じさせ、物価高騰に見合う大幅な年金引き上げをさせ、年金生活者のいのちと暮らせ、年金生活者を守りましょう。府内すみずみで街頭宣伝行動をさらに強めよう。

今までにない息苦しさを

高齢者の悲痛な声を聞け

組合員の声(女性部のアンケートより)

- ◎朽ちる家を見ていると自分と重なる。免許返したら、病気になる。不安は毎日に募る。(丹後支部)
◎屋根老朽化、水漏れで不安だらけ。年70〜100万円赤字、これからどうなるのだろうか。(右京支部)
◎貯金あと数年で「0」、考えるのも怖い。今まで経験したことのない息苦しさを。障害の子の将来、安心して死ねない(北上支部)
◎食料品以外にも買わない。(南支部)
◎最近の物価高にへらしがついて行かない、食費・光熱費・医療費の高騰はへらしを直撃します。その上年金は削減され、食べることを我慢し、コロナ、熱中症、インフルエンザの中でもエアコンを我慢しています。(船井支部)

2月から新たに食料品など5000品目超が値上げ

夕映え

積雪12センチ、北部の方から見れば「?」でしょうが、京都市内では大騒ぎ、市バスがスリップして道路をふさいだり、ノーマルタイヤ車のノロノロでどの道も大渋滞。JRがとまり車内に

何時間も閉じ込められた七千人▼さて次ぎの日、スパーに行つてびつくり、柵がスカスカなのです。ニュースによれば、全国的にも物流が止まり、水道管が破裂し、さまざま被害が出ています▼まあーなんと脆弱な国でしょう! 積雪で立ち往生は何度も発生しているのに学ばない、なんと愚かな国でしょう! ミサイルが来なくても、寒波がくるだけで、こういうことになる国です。暮らしを守る本当の国防を真剣に考える必要があるのではないのでしょうか?
▼日本の軍費は今でも世界9位、倍になると3位に。え、え、え、え!! あつちからは、「日本はアメリカと一緒に何をするのかわからんし怖いなあ」と思われているのかもしれない▼平和外交なんて難しく聞こえるけれど、外交とは、お互いに知りあえるようにまず話し合うという簡単なことです。(KA)

年金裁判

2月16日に結審
4月28日判決へ

高裁での勝利めざし
最後まで闘いぬこう！

原告(控訴人)・支援者集会
と今後の運動

原告・支援者集会に
47人が参加 1月20日

【井関佳典弁護士のお話】

講演された井関弁護士は、地裁判決で「高齢者・女性の年金額が低いことを判決の中で認め、特例水準と本来水準の差額7兆円についても、誤っていることを認めたことを明らかにされたうえで、高裁での闘いは、「立法過程統論(立法をつくる過程で瑕疵があったこと)」や憲法25条、29条、13条などについて力を入れて主張してきたことを説明されました。



そして世代間公平や年金制度の持続的

維持、立法過程、高齢者女性の生活

7兆円問題などについて国はこれまで出てきてきたが、高齢女性の生活で一言も反論できず、7兆円問題でも「数兆円」だったと回答してきました。また、高松高裁が立法過程の判断をするなど成果もあると説明されました。

控訴の2年間、主張は念入りにやってきた。世論を高める運動を併せて闘い、最高裁で憲法判断、立法過程統制論での判断をさせていこうと諦めくくられました。

【今後の闘い】

①大阪高裁裁判長(官)あての「署名」(目標5万筆)を一気に集

め法廷に積み上げよう！

②2月16日の弁論期日、裁判所前宣伝行動に大勢の人が駆け付け、大法廷がふれる状況をつくりだそう！

③判決日まで「要請ハガキ」を届けよう！生活が苦しいこと。憲法を活かした判決を！などを記載して提出しよう！

④最高裁に向けての取り組みの強化。すでに最高裁での闘いが始まっています。

「大法廷での審理を求める」署名を大量に集めよう！



確定申告のススメ

二月十六日から確定申告の受付が始まります。労働者から年金生活者になった方には、確定申告はペー
ドルが高いかもしれません。でも、医療費が二倍化され、物価は上がるのに年金は下げられる一方、せめて、とられすぎた税金を、確定申告で取り戻してみませんか？確定申告は、自分の税金を自分で決める制度、国民の権利です。

とは言っても、どうしたら良いの？

と思いますよね。まず、医療費控除です。年金収入二百五十万円の方の場合、所得が百四十万円になり、その5%の7万円を超えた医療費の金額が控除されます。扶養となる配偶者や親族の医療費も合算でき、通院交通費も入れられます。生命保険料、政党への寄付金、ふるさと納税の寄付金も控除できます。

申告等できないという方は税務署の相談会に、医療費の領収書や寄付金の領収書をもって行けば教えてくれます。マイナンバーは記載しなくても受理されます。税金が戻る申告は三月十五日を過ぎても構いません。また、過去5年間に遡って申告できます。

(南支部・松倉三千夫)

春の諸運動

楽しく力強く

各支部から元気な報告



れ、その追悼
上映会として
企画しました。
終戦直後、朝
鮮半島出身者
数千人を乗せ
た日本の輸送
船が舞鶴湾で
爆発して沈没
した「浮島丸

映画会・新年会を開催
西京支部は、1月21日区内
西長会館で映画会と新年会を
行いました。午前は、ドキュ
メンタリー映画「エイジアン・
ブルー―浮島丸サコン」を観賞。
この映画のプロデューサーの
伊藤正昭氏(妻澄子さんは組
合員)が昨年11月になくなら

新春のつどい3年ぶりに開催
1月30日(月)かこの屋白
梅町店で新春のつどいを開催
しました。今年の新春のつど
いは、24日から25日にかけて
の大雪でそこかしこにまだ雪
が残っている中で行いました。
コロナ禍で3年ぶりとなった
つどいには25人が参加、楠支
部長の冒頭あいさつで始まり、

事件」を扱ったこの映画。
「初めて知った」「強制労働
を覆い隠す謀略では」などの
感想をまじえて皆さん興味深
く見入っていました。
昼から新年会。仕出し弁当
と缶ビール1缶の昼食をみん
なで黙飲食。マスクをしての
トークタイムでは、参加者全
員が近況や新年の抱負を語っ
て交流しました。そのあとは、
ピアノ伴奏で「みんなが歌お
う」。懐かしい曲や「かけが
えのない人生」を元気に歌い
ました。久しぶりに皆さん再
会し、楽しいひと時を過ごし
ました。参加者は53人でした。
府本部から栗倉副委員長が参
加。あたたかい激励のご挨拶
をいただきました。
西京支部 新宮書記長

**3年ぶりに開く
支部機関紙コンクール**
2022年度年金者組合支
部機関紙コンクールを実施し
ました。
中京支部 寺田博

また4月には統一地方選挙が
行われることから、候補者の
府会田中ふじこさんと市会平
井良人さんが参加、あいさつ
と決意を表明しました。
食事も進み各参加者から新
年になっての思いを一言づつ
発言、また林さんから例年の
様にクイズがあり皆さん楽し
く考えていました。終了後は
平野神社の前で記念写真を撮
り、北野天満宮まで散策しま
した。まだまだ今年は気温が
低いため梅の花はつぼみも硬
い状況でした。
中京支部 寺田博



地区労
からは
北山事
務局長
があい
さつに
かけて
いただき
ました。

- ◎ 最優秀賞
向日支部「たけのみち」
- ◎ 優秀賞
丹後支部「たんご」
舞鶴支部「舞鶴年金者しんぶん」
綴喜支部「ねんきん綴喜」
- ◎ 佳作
北桑田支部「年金者組合北桑田」
亀岡支部「療原の火」
下京支部「なかま」



府本部委員会での表彰式

部機関
紙の中
から審
査した
結果は、
左表の
通りで
す。
①昨年9月7日以降の感染
については、みなし入院を
原則7日として給付。
②昨年9月26日以降の感染
については、いずれかのコ
ロナ感染症の証明書の提出
が必要(9月26日より以前
の感染については「療養申
告書」の提出
となります。

審査員は機関紙協会京滋
地本をはじめ、編集委員会
のメンバーがあたりました。
審査にあたっては、①紙面
構成、取材や組合員の登場、
親しみやすさ、話題性など
②編集・レイアウトなど。
読みやすさ、写真の取り扱
いなど③編集体制など多方
面にわたって審査していた
りました。

共済会だより
**「コロナ感染者に
給付金」がでます!**
全労連共済事業部では、
医療共済に加入されるコロ
ナウイルス感染症感染者に
対する入院扱い給付が実施
されています。給付対象者
は、個人共済の『医療』『高
齢医療』『ワンコ』共済の加
入者に限ります。
①昨年9月7日以降の感染
については、みなし入院を
原則7日として給付。
②昨年9月26日以降の感染
については、いずれかのコ
ロナ感染症の証明書の提出
が必要(9月26日より以前
の感染については「療養申
告書」の提出
となります。

③今年の5月
8日(政府の
コロナ5類化
移行日)まで
はこの給付は
継続され、そ
の後の取り扱
いは今後検討
中です。

年金裁判・補聴器公的補助制度・京都市政 転換・北陸新幹線延伸反対など議案採択

府本部委員会 2月1日に開く

府内全体の要求実現めざし運動を強めよう

全ての議案 満場一致で採択
2025年度の府本部委員会が2月

1日、教文センターで開催されました。今年の府本部委員会は、加齢性難聴者の補聴器購入時の公的補助制度を求める国への意見書が京都府議会において全会派一致で採択されたことや、北陸新幹線の延伸工事の4

月着工を止めたこと、京都市営地下鉄の値上げを中止させ、京都市の中学校給食の完全実施に向けた調査予算、小学校卒業までの医療費無料化を京都府が実施するなど、私たちが、多くの団体と共同して粘り強く運動してきたことが成果として実現した時に開催されました。

また、年金裁判で大きな動きがあり、2月16日の高裁での第1回弁論期日で「結審」する情勢下の開催ともなりました。

開会の挨拶で山本委員長は、「私たちの要求が一步一歩前進していること。反面「敬老乗車証」問題では、高齢者の足を守らない京都市政を批判、仲間を増やして、私たちの運動を前進させ高齢者がいきいきと輝ける地域づくりをしようと呼びかけました。

活動の報告は森脇書記長が行い、秋の仲間増やし運動の成果や要求運動の大切さと年金者組合として、京都府内隅々の要求実現の闘いをすすめていくと提案されました。年金裁判問題にもふれ、高裁での勝利めざして最後まで頑張る決意を表明され、判決までの取り組みを報告しました。

府本部委員の発言(要旨)

補聴器購入補助に向けて



亀岡支部 小川正さん

亀岡では、補聴器購入を求め、請願署名に取り組んでいます。2月から本格的に活動を強め、5千を目標に組織内、街頭、地域老人会への働きかけとともに、耳鼻科のお医者さんへの懇談も入れています。

亀岡には、多くの会派がありますが、6月市議会での採択に向け頑張りたい。

やりたいことで集まる



西京支部 小島志津子さん

やりたいことがあれば組合員が集まる。府本部が提案されている「3〜5年後をめざした組織強化方針」その通りだと思います。1月30日に行った新年会は不便など、そこで行ったのに53名も参加がありました。やりたいことであれば参加される。歩こう会では、歩くだけで参加され、年金者組合に加

入されます。「エイジアンブルー」の映画も上映しました。3〜4名の方は映画が楽しみで来られた。お誕生会に、バラの花、年寄にそんなものいらぬのではとの意見もあるが、そうではなかった。来られたという事です。女性の暮らしアンケートも1か月で83名分、一緒に配布した署名も飛躍的に増加しました。

高年齢者の交通権と公民館問題

宇治久御山支部 清水浩之さん
1月24日に宇治市に17項目の要望書を提出しました。足を守る運動では、京都で開催された高齢者大会の分科会「交通権・足の問題」は定員50名の会場に80名が参加され関心が高いなと思いました。宇治市でも地域で、バスを運行させたいが、地域によっては中止されている。現在のところ、のびのびは明星町だけです。2018年に突然公民館を閉鎖した。反対運動を続けている。その後宇治市内のすべての公民館を閉鎖すると言ってきたが、パブリックコメントで98%が反対で断念した。その後も公民館条例の廃止と有料化の検討を言ってきたが、説明会で猛烈な

高年齢者の交通権と公民館問題



宇治久御山支部 清水浩之さん

反対もあり止めている。

仲間増やし運動 13年連続拡大継続



綴喜支部 有本敏雄さん

綴喜支部は仲間増やしで、12年11か月間継続しているが、昨年12月は最大の伸びでした。年末も押し詰まって、これまでも「お試し」でカラオケに来られている方に訴えてやうと加入してもらえた。1月にも加入があり13年連続拡大が続いています。サークル活動と拡大継続への執念が仲間づくりへの2つの鍵だ。高齢の生き生き作品展を2月、京田辺市の公園で開催します。

癌アンケート等、共催活動にも力を入れて。コロナ給付について詳細を知らせてほしい。

アンケート回収倍増



山科支部 高畑照世さん

子どもと二人暮らし。節約した暮らしに心掛けています。我が家の電気代は基本料金のみです。

支部女性部の部長になり、暮らしアンケートに取り組みました。一人暮らしが多く、生活が苦しいとのこと。ア